PLANNING LECTURE ON EX-VIEW

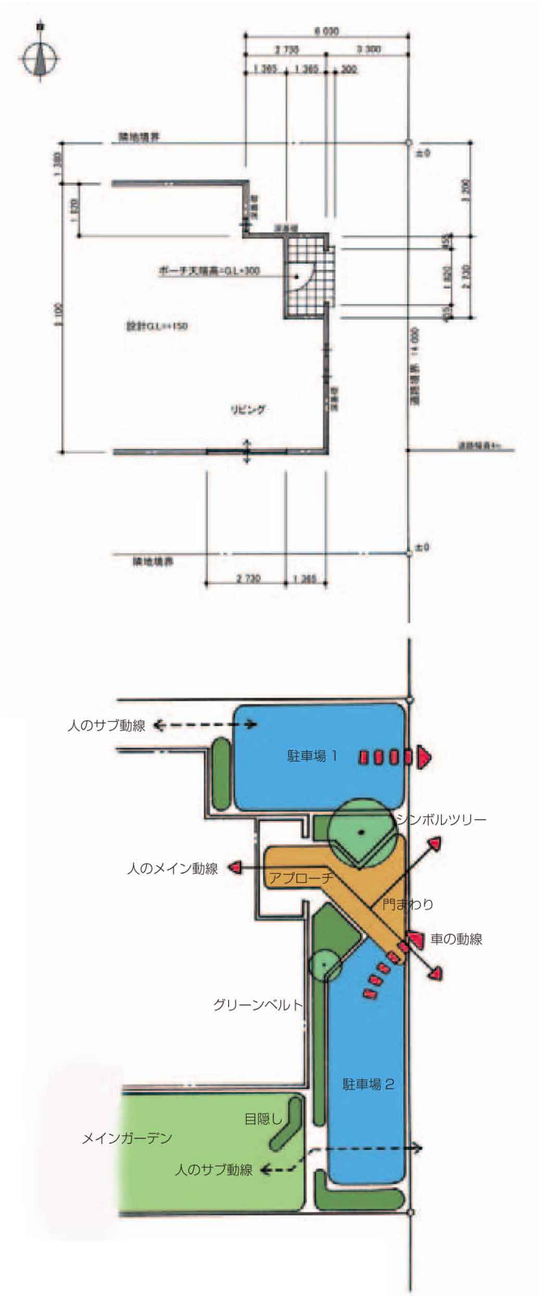
EX プランニング実践塾

前回の課題の確認

まず始めに、前回の課題の敷地条件について、もう一度確認をしておきましょう。
敷地の条件としては東入りのプランで、道路と敷地の高低差は 150mm でした。道路面の間口寸法は 14m で、施主の要望としては

- **東側のスペースに駐車場と門まわり、アプローチを提案して欲しい。**
- **所有している車は 1 台だが、来客用も含めて 2 台分の駐車場が欲しい。**
- **玄関ポーチは最上段のみ決まっているので、もう 1 段はアプローチと合わせて計画して欲しい。**
- **スタイルはオープンスタイルとし、植栽スペースを多めに確保して欲しい。**
- **門袖又は門柱を設置して、ポスト、表札、インターホンを付けて欲しい。**
- **玄関脇にあるリビングの縦長窓と道路の間に落葉樹を植えて欲しい。**
- **駐車場（または道路）から南側の主庭への通路を確保して欲しい。**

となっていました。みなさんはどのようなプランを考えられましたか？今回も模範プランを使って考え方やポイントを解説していくことにしましょう。



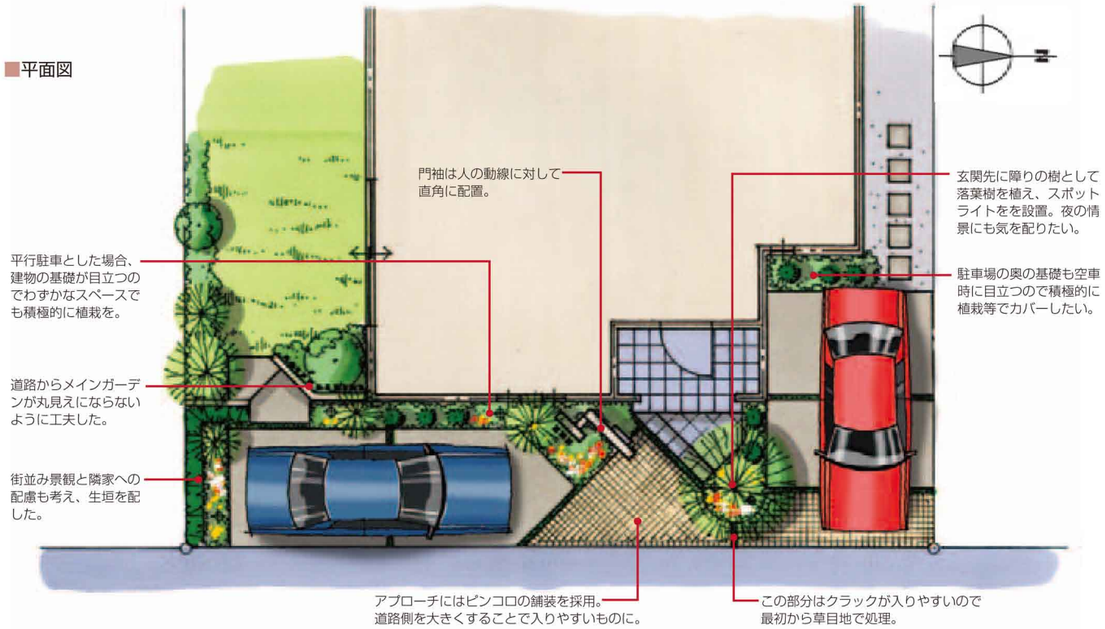
■ゾーニング

まず始めに駐車場のレイアウトを検討するわけですが、今回はメインガーデンのスペースを確保する目的で 2 台の車をＬ型に駐車するパターンを採用しました。
また、門まわりにも植栽スペースを確保し、ゆとりのあるプランにするため、駐車場 2 は南側隣地境界側へ寄せてみました。
アプローチにも変化をつけるため動線を斜めに配置し、南北どちらからも入りやすいよう道路に対して裾広がりのイメージになるよう床を広く取っています。
道路からメインガーデンが丸見えにならないように動線をクランクさせ、目隠しも提案したいと思います。

■模範プラン

それではゾーニング図をもとに作成しました模範プランをご覧ください。
立面図と比較しやすいように、便宜上平面図は西を上にして表示しています。2 台分の駐車場とアプローチの床が目立つオープンプランですが、積極的に植栽スペースを確保することで、全体として柔らかい印象になるよう考えてみました。

■平面図



■立面図

■イメージパース

もちろん、このプランが正解というわけではありませんので、あくまでもプランの一例としてご覧いただき、ご自分で考えられたプランと比較して、各ゾーンのバランスや納まりなど、実邸を設計する際の参考にしていただければ幸いです。